

Mizuho Daily Market Report

2024/8/30

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	144.74	144.99	+0.40	▲1.30
EUR	1.1130	1.1077	▲0.0043	▲0.0035
AUD	0.6812	0.6798	+0.0013	+0.0093
SGD	1.3011	1.3031	▲0.0004	▲0.0074
CNY	7.1088	7.0970	▲0.0309	▲0.0500
MYR	4.3233	4.3110	▲0.0333	▲0.0670
THB	33.97	33.94	▲0.06	▲0.41
IDR	15381	15415	▲10	▲185
PHP	56.29	56.29	+0.05	▲0.04
INR	83.89	83.87	▲0.09	▲0.08
VND	24859	24880	+17	▲93

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.862%	+2.7 bp	+0.9 bp
日本(10年)	0.899%	▲0.4 bp	+2.2 bp
ユーロ圏(10年)	2.274%	+1.3 bp	+3.0 bp
オーストラリア(5年)	3.593%	+0.8 bp	+4.6 bp
シンガポール(5年)	2.545%	▲0.4 bp	▲11.1 bp
中国(5年)	1.859%	+0.3 bp	▲1.3 bp
マレーシア(5年)	3.493%	+0.3 bp	+0.5 bp
タイ(5年)	2.282%	▲0.2 bp	▲3.6 bp
インドネシア(5年)	6.519%	▲0.7 bp	▲2.4 bp
フィリピン(5年)	5.941%	+1.2 bp	+3.6 bp
インド(5年)	6.778%	+0.2 bp	+0.5 bp
ベトナム(5年)	2.090%	+0.0 bp	+0.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	41,335.05	+0.6%	+1.5%
N225(日本)	38,362.53	▲0.0%	+0.4%
STOXX50(ユーロ圏)	4,966.27	+1.1%	+1.7%
ASX(オーストラリア)	4,576.34	+0.3%	+0.9%
FTSE(シンガポール)	3,404.47	+0.4%	+0.9%
SSEC(中国)	2,823.11	▲0.5%	▲0.9%
SENSEX(インド)	82,134.61	+0.4%	+1.3%
JKSE(インドネシア)	7,627.60	▲0.4%	+1.9%
KLSE(マレーシア)	1,653.55	▲1.3%	+0.7%
PSE(フィリピン)	6,891.55	▲1.0%	▲1.0%
SETI(タイ)	1,357.41	▲0.6%	+1.2%
VNIINDEX(ベトナム)	1,281.47	+0.0%	▲0.1%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	279.88	+0.8%	+1.9%
金	2,521.40	+0.7%	+1.5%
原油(WTI)	75.91	+1.9%	+4.0%
銅	9,125.64	▲0.0%	+1.3%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	142.60	—	145.30
EUR/USD	1.0930	—	1.1250
AUD/USD	0.6685	—	0.6850
USD/SGD	1.2960	—	1.3180
USD/CNY	7.0760	—	7.1190
USD/INR	4.3000	—	4.3930
USD/THB	33.70	—	34.75
USD/IDR	15350	—	15750
USD/PHP	56.00	—	57.00
USD/INR	83.00	—	84.10
USD/VND	24,100	—	25,500

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は144円台半ばでオープン。その後は実需フローと思われる買いが見られたものの、新たな材料に乏しい中、方向感に乏しい展開に、その後、ドル円は144円台後半まで上昇する局面もあったがすぐに失速し144円台半ばで海外へ渡った。
アジア通貨は全般的に底堅い推移。特段目立った材料はなかったものの、ドルが幅広い通貨に対し売り優勢となったことがアジア通貨のサポート要因となった。

NY時間のドル円は144円台半ばでオープン。NY朝方に発表された米第2四半期GDP(改定値)が予想を上回り、構成項目の個人消費も予想以上の伸びを見せた事に加えて、米新規失業保険申請件数も予想を下回った事がドル買い材料となり、145円台半ばまで上伸。しかし、その後は米金利が上昇幅を縮小させる動きが重しとなり、一転じり安での推移が続き、144円台後半でクロスした。

【金利】

昨日の米金利は上昇。米第2QGDP(改定値)や米新規失業保険申請件数が底堅い結果となったことを受け金利は上昇して反応。米10年債利回りは前日比+2.7bpでクロスした。

【予想】

本日のドル円は底堅い推移を予想する。昨日は良好な米経済指標の結果を受け米金利が上昇。月末日であることから実需フローを受け上下する展開には注意が必要と考えるが、基本的には米金利上昇の流れを受けドル買い優勢の展開を予想。一方で、昨日の値動きを見る限り145円台では相応の売り意欲もあると考えられ上昇幅も限定的か。

【本日の予定】

- (日本) 7月 住宅着工件数
- (日本) 7月 失業率 / 有効求人倍率
- (日本) 7月 小売売上高 / 百貨店・スーパー売上高
- (日本) 7月 鉱工業生産(速)
- (アジア) 2Q インド GDP / GVA
- (アジア) 7月 タイ 国際収支
- (アジア) 7月 豪 小売売上高 / 民間部門信用
- (欧州) 7月 ユーロ圏 失業率
- (欧州) 8月 ユーロ圏 CPI
- (米国) 7月 個人所得 / 個人支出
- (米国) 7月 実質個人支出 / PCE価格指数
- (米国) 8月 MNIシカゴ PMI
- (米国) 8月 ミシガン大学消費者マインド(確)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。